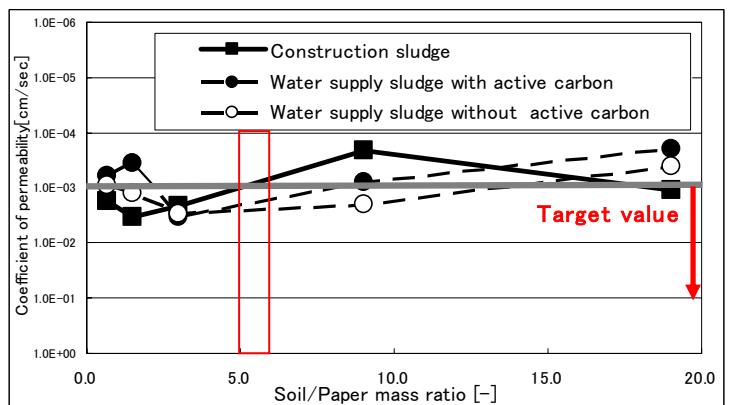
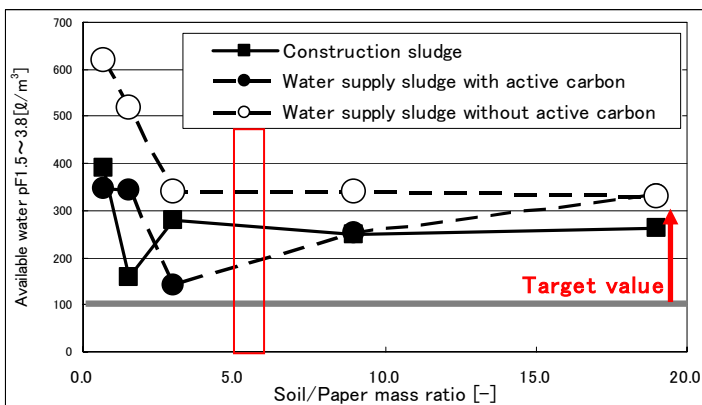


繊維質処理土「ボンテラン」の緑化基盤材利用

従来の緑化基盤材と比べて

- ① 繊維質処理土「ボンテラン」は植物が利用できる範囲の水分である有効水分量が 300 l/m^3 を超えており、目標値を十分満足する結果を得た。
- ② 大きな団粒構造により粗粒化させることによって、透水性、気相率、湿潤時比重を満足できる事を確認した。
- ③ 繊維質処理土の陽イオン交換容量は全ての試料において目標値を満足した。
- ④ 建設汚泥・浄水発生土を原料とした試料の最適添加量は、土粒子量/古紙破碎物量比が $5.0 \sim 6.0$ であることを確認した。
- ⑤ 副資材として木材チップを混合することで、更なる透水性、気相率、湿潤時比重の向上が可能になる事を確認した。



ボンテランと木材チップの混合



吹付け状況



吹付け完了



吹付け3ヶ月後

